

千秋学園建替事業に関するサウンディング型市場調査に係る サウンディング結果（概要）の公表について

令和5年1月24日
秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課

1. サウンディング実施の経緯

千秋学園の主な建物は、昭和49年建築のため、設備面を含め老朽化が著しく、児童の生活や管理運営等に支障を来しており、施設全体の建替を実施することを念頭に、現在、機能や施設・設備の両面から今後の施設のあり方について検討しています。

児童が安心して生活・学習できる環境を確保するとともに、児童のプライバシーに配慮しつつ、支援を効果的に実施するための施設・設備について、民間事業者のアイデアを生かしながら整備する方策を検討するため、市場性の有無や事業方式等に係る意見・提案等を募る目的でサウンディングを実施しました。

2. サウンディングの実施スケジュール

令和4年10月21日	サウンディング実施要領公表
令和4年11月21日	説明会開催（あきた公民連携地域プラットフォーム 令和4年度第2回セミナー内において）
令和4年12月26日～27日	サウンディング実施
令和5年1月24日	サウンディング結果（概要）公表

3. サウンディングの参加者

建設業、設計業、コンサルタント業等 3者（共同企業体含む）

4. サウンディング結果の概要

項目	参加者からのご意見・ご提案等
BTO方式とした場合の事業参入可能性等について	<p>○事業参入可能性はある。ただし、事業規模が比較的小さいため、導入可能性調査に時間を要すること等を考慮すると、DBO方式の方がよりふさわしい方式と考えられる。DBO方式の場合は、BTO方式と比べ、設計・建設費が一括払いとなる、資金調達を県が行う、運営に当たる企業が倒産するリスクがある等の違いがあるため、検討の際に留意して欲しい。</p> <p>○事業参入可能性はある。ただし、県側のコストメリットを考慮すると、買取方式、DB方式等の方がよりふさわしい方式と考えられる。</p>

	<p>○維持管理・運營業務に収益性がないため、「B T」部分と「O」部分は分離したほうがよいのではないかと。「O」部分を一体にすることで参入可能性を低下させることにつながると思われる。D B方式であれば、参入可能性が高まる。</p>
給食調理業務の業務委託について	<p>○入所児童数が少なく、収益を見込むことができない。</p> <p>○入所児童数が少ないため、施設内に設備を整備し、調理員等を配置するのはコストが割高になる。施設外で調理し、持ち込む形にしてはどうか。</p> <p>→（地域・家庭福祉課からの補足）</p> <p>厚生労働省令「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」により、「児童福祉施設において、入所している者に食事を提供するときは、当該児童福祉施設内で調理する方法により行わなければならない」とされているため、施設外での調理はできません。</p>
設計・建設に要する期間の想定について	<p>○設計に半年間から1年間程度、建設に1年間程度、合計2年間程度の所要期間が想定される。</p>
事業の条件・制約等について	<p>○設計・建設業務の発注の際は、性能発注としてもらえれば参入可能性が高まる。</p> <p>○秋田県内に本社がなければ参入できないような条件は付さないで欲しい。</p> <p>○地元企業の活性化の観点から、どのような発注形態であっても、地元企業へのインセンティブについて十分考慮して欲しい。</p>

（用語の補足）

B T O方式 … Build(建設) - Transfer(移転) - Operate(運営等)

D B O方式 … Design(設計) - Build(建設) - Operate(運営等)

D B 方式 … Design(設計) - Build(建設)

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、B T O方式とした場合の事業参入可能性は一定程度あるものの、他の公民連携手法の方式も含めて検討する余地がある等のご意見・ご提案をいただきました。

今後、今回のサウンディングの結果を踏まえ、公民連携手法導入の適否や、公民連携手法を導入するとした場合の事業方式等について検討を進めます。